

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業種別	新規	補助	事業類型	Ⅲ	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	------	---------

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
環境整備された面積	分母には史跡面積×2回、分子には環境整備を実施した面積とし、整備の指標とした。	%	目標	目標	100	100
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	史跡国分寺跡は金堂・講堂・中門・塔・回廊といった土壇が残る貴重な遺跡であり、環境整備により加蓋配置が明らかとなることで文化財の価値を顕在化させる。史跡を訪れる人の憩いの場として環境の保全を図る必要がある。
有効性	4	史跡全体を環境整備し、新しい知見を得ることで、文化財としての価値がより高まる。環境整備を図ることにより、史跡を訪れる人に潤いと憩いの場を提供できる。
達成度		
効率性	4	伊賀国分寺跡の環境整備については、市単事業でおこなってきたが、国・県の補助うけることができれば、市の支出を減額することができる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

事業名	2116	国史跡伊賀国分寺跡環境整備事業	区分	会計	コード		名称	
基本策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ		款				
施策	5	史跡の保存整備		項目				
				細目				
				細々目				
基本計画該当頁		143	行革大綱の重点事項番号		7			
担当部課	コード	450400	評価者氏名	前田 明伸	連絡先	22 - 9679		
	名称	教育部 生涯学習課				(内線) 3830		

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	国史跡伊賀国分寺跡の遺構 (※対象件数)	史跡内の雑草、雑木を整備することで、基壇の高まりや礎石の抜き取り跡等、遺構の加蓋配置が明らかとなり、文化財としての価値が顕在化し、多くの利用者が訪れる場となる。史跡の景観、見通しが良くなり、また、枯木等を除去することで、利用者及び周辺住民の安全を確保することができる。
根拠法令・要綱等 文化財保護法 都市公園法		
開始年度	平成 21 年度	関連事業
終了年度	平成 30 年度	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 史跡内の草刈 樹木の枝打ち 枯木の除去 	平成10年度に史跡内の舗装周遊路を設置し、市民が伊賀国分寺跡の規模などを体験できるようになった。そして、平成11年度より周遊路内側と北接住宅付近の草刈業務を年2回委託して実施している。近年は緊迫した予算のため、委託面積を減少させているため、草の繁茂により加蓋配置が不明瞭になる期間が増えてきた。また、草の繁茂により史跡の内と外の見通しが悪化してきた。史跡内には松枯れがおこり、雑木は成長し、史跡全体を対象とした環境整備が必要になってきた。

整備内容	運営体制
1 建設用地 伊賀市西明寺	1 運営主体 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
2 建設面積(延床面積) 60,000㎡	委託先 ()
3 規模・構造	2 配置(予定)人員 人
4 総事業費 千円	3 年間運営費 千円
	4 市内の類似施設

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容					平成19年度 決算内容					平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容					平成23年度 計画内容				
		20	21	22	23	24	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	
委託		←								(千円)				(千円)	委託料			6,192	(千円)	委託料			5,160	(千円)	委託料			5,160	(千円)		
	進捗率 (%)						事業費計(A)	Σ		0	事業費計(A)	Σ		0	事業費計(A)	Σ		6,192	事業費計(A)	Σ		5,160	事業費計(A)	Σ		5,160					
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720						
フルコスト (A)+(B)					0				0				0				6,912				5,880				5,880						

事業費(人件費除く)の財源内訳		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
(A) 事業費		0	0	0	6,192	5,160	5,160
Aの財源内訳	国庫支出金				4,953	4,128	4,128
	県支出金				619	516	516
	地方債						
	受益者負担						
	その他						
	一般財源	0	0	0	620	516	516
	計	0	0	0	6,192	5,160	5,160
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				指定文化財管理費国庫補助 国補助率80% 県補助率 10%	指定文化財管理費国庫補助 国補助率80% 県補助率 10%	指定文化財管理費国庫補助 国補助率80% 県補助率 10%